

(様式1)

個別施策評価調書

(平成30年度実績)

主管部	建設部	
関係部		

基本施策	II-5 防災力・防犯力を強化する
個別施策	② 犯罪に強いまちづくりの推進
個別施策の方向	市民一人一人の防犯意識高揚を図るとともに、地域防犯活動の推進や防犯設備の整備、警察等との連携の更なる強化を図る。これら自助、共助、公助の連携により、犯罪に強い、安全で安心な生活環境を実現する。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)										
H27年度	決算	事業費	174,686	人件費	28,947	事業コスト	203,633			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H28年度	決算	事業費	138,416	人件費	28,563	事業コスト	166,979			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	4,400	その他特財	0	一般財源
H29年度	決算	事業費	311,501	人件費	23,203	事業コスト	334,704			
	事業費内訳	国庫支出金	21,300	県支出金	0	地方債	103,100	その他特財	1,000	一般財源
H30年度	決算	事業費	335,822	人件費	29,583	事業コスト	365,405			
	事業費内訳	国庫支出金	92,592	県支出金	0	地方債	96,500	その他特財	0	一般財源

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	42.1%	45.3%	3.2%
8) 防犯対策			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果

総合評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	<p>個別施策評価調書の成果の記述については、よりエビデンスをつけて、読んだ際に内容をすぐに読み取ることのできるような形で具体的に記入されたい。</p> <p>また、見回り隊、ジョグパトロール隊、自警団、あるいは防犯・環境美化サポーター等に取り組む内容をよく理解してもらい、防災意識の向上に貢献されたい。</p> <p>さらに、公務員宿舎の空き家対策、乗り物の犯罪行為対策等、つくば市に特徴的な犯罪に対応したまちづくりを今後検討し、強化されたい。</p>	

施策の 取組概要	<p>筑波研究学園中心地区の街路灯未整備地区に対し、自歩道改修整備と合わせ、年次計画に基づき街路灯の設置を進める。</p> <p>防犯・環境美化サポーター、防犯ボランティア、ジョギングパトロール等による見回りパトロールを実施し犯罪の抑止に努める。</p> <p>明るく安全で安心なまちづくりを推進するため、平成28年度に市内約20,000基の防犯灯をLED化し、年間約400基を増設している。さらに、防犯カメラを不特定多数の者が利用する道路や広場に設置し街頭犯罪の抑止を行う。</p>
施策の 成果	<p>街路整備事業では、吾妻地区外3路線の街路整備工事が完了した。</p> <p>また、防犯・美化サポーターによるつくばエクスプレス4駅を中心とした31,208回の車両広報パトロールの実施に加え、新たに防犯ボランティア8団体に計59枚の防犯ベストを支給したほか、広報紙にジョグパトロール参加募集記事を掲載し、43名の新規登録者を確保し、地域の安全に寄与した。さらに、LED防犯灯421基を新設すると共に、防犯カメラをつくば駅及び国際会議場周辺の8か所に10基新設したことにより、市内の犯罪の抑止に寄与した。</p>
課題と 改善目標	<p>防災力・防犯力を強化するには、防災・防犯に対する準備と対策、さらに、市民の関心と意識の向上が必要であり、新規のインフラ整備の拡充と市民に対する周知広報活動が課題である。今後は、費用対効果を考慮し緊急箇所の重点整備を行い、さらに警察署や防犯パトロール団体等や庁内関係各課と連携し市民に適切な情報発信を行う事で、市民生活の安全確保を図る。</p>

自己評価（所管部署評価）		
自己評価	B+	施策について成果が確認でき、さらなる向上が期待できると判断される。